

## 問題と回答例

Q. イラストの男の子になったつもりで、昨日起こった出来事を説明しなさい。



## A2下位 回答例



Yesterday, I get up in the morning. UFO is...is outside.  
I'm very surprised, so I...glasses. When I see UFO again,  
it's not UFO. It's...it was airplane.

## A2下位の特徴

2つのセンテンスを“because”などの接続詞で繋げて、簡単なアイデアをシンプルな英語で表現できます。

## A2上位 回答例



Yesterday, I got up in the morning and I saw a UFO outside  
the window. I'm very surprised, so I put on my glasses. But  
it was not a UFO but an airplane.

## A2上位の特徴

複数のセンテンスを繋げて日常的な活動などについて話すことができます。

※回答例には、意図的に誤りを含めていることがあります。

## A2下位 → A2上位を目指すための指導案

## 目標

2文程度の短い発話を、繋がりのある長めの発話にする



目安時間

30分

## 準備物 ピクチャーストーリー/タイマー

様々な結末が連想できそうな話を選ぶ。  
ピクチャーストーリーは、4コマのうち最後の1コマを隠す。

## ステップ

1

(全体)

- ピクチャーストーリーを黒板に貼り、生徒に最後のコマを予想させ日本語で共有させる。
- 各コマを、英語を使って表現させる。
- 各コマを繋げるために役立つ表現をいくつか板書する。



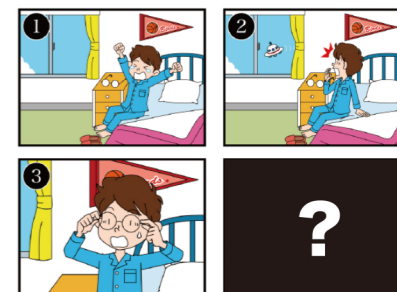
板書する表現の例:  
then, after that, next day, so など

- 板書した表現を使って、4コマのストーリーを発表させる。



エンディングは一人ひとり違うので、様々なストーリーを発表してもらう。

## ピクチャーストーリー例



## ステップ

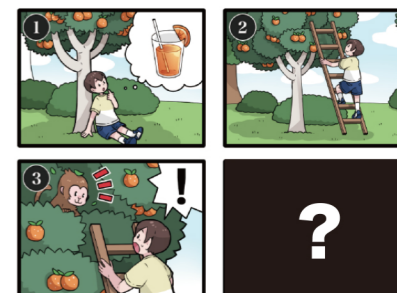
2

(グループ)

- 新しいピクチャーストーリーを黒板に貼る。
- 生徒を4人のグループに分け、最後のコマを予想しながら英語でストーリーをつくるよう指示する。
- 各グループのストーリーを発表させる。



よくできている例や面白いものは特に褒めるとよい。



## ステップ

3

(ペア)

- 黒板に1つのテーマを書く。



テーマの例:  
週末の出来事、家族旅行、夏休みの1日など

- 1分間、個人でストーリーを考える時間を与える。
- 生徒をペアに分け、互いに発表させる。



ステップ1で提示した、各コマを繋げるための表現を積極的に使ってもらう。

- 教師は巡回し、面白いと思ったストーリーやよく表現できている生徒を数名選び、発表させる。



POINT

教師の関わり方:よくある誤りやよい表現は、板書で補足説明をしてください。英語の発話に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。